

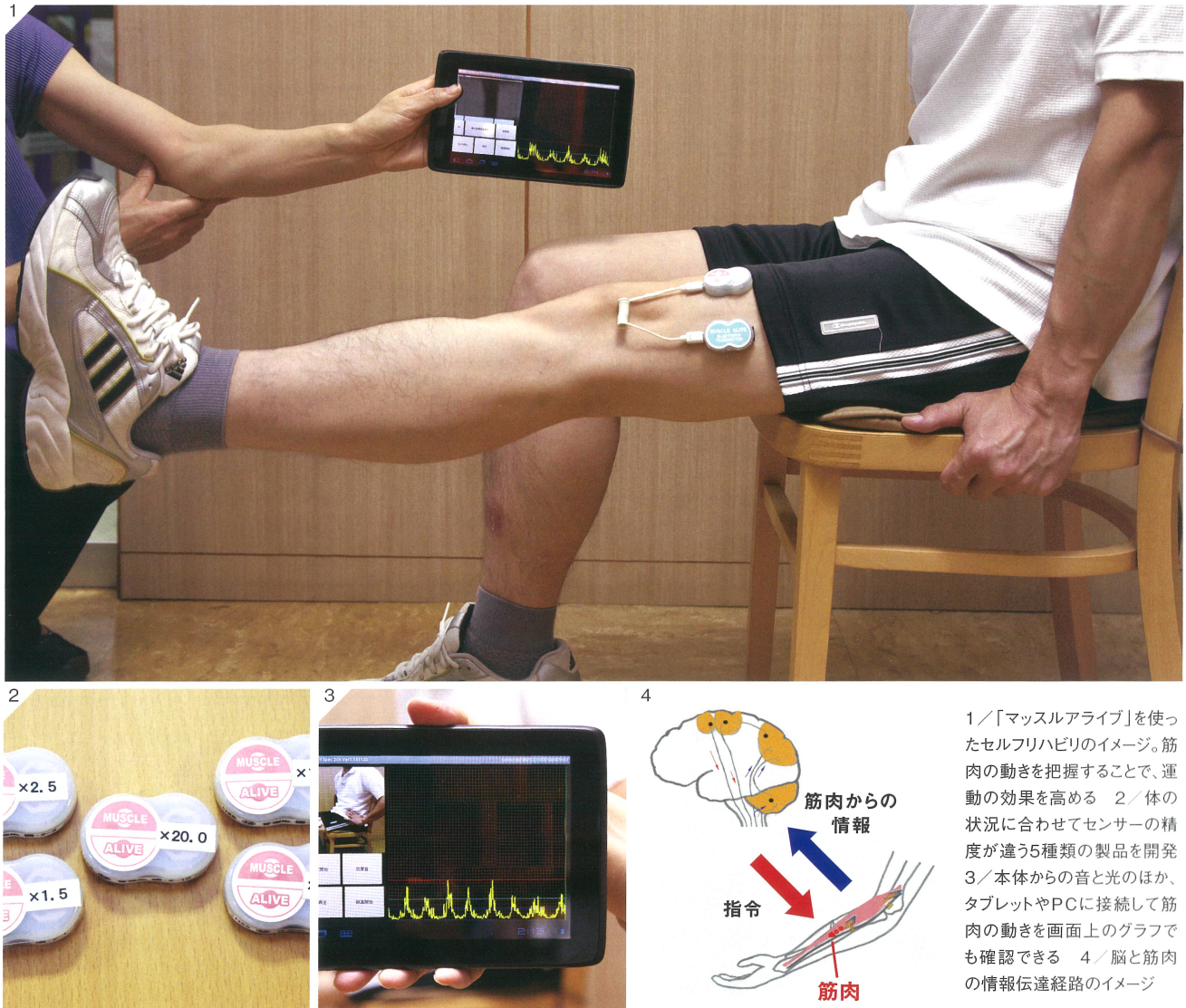
科学的検証に基づく 個人用リハビリ・ティーチングシステムの開発

【対象類型】
ものづくり技術

【競争力強化の形態】
一般型 試作開発 + 設備投資

【目的】
新製品開発

株式会社
身のこなしラボラトリー



筋肉の動きを把握して、楽しく効果的にリハビリ。

病気や事故からのリハビリは、医療機関から自宅や施設などに移行すると、指導者不足や機器類の使い難さもあって、うまく進まない場合が多い。しかしこの時期の過ごし方がその後の生活の質（QOL）に大きく関わってくる。

「マッスルアライブ」は同社が健常者用に開発したトレーニング支援ツールで、脳から筋肉への指令の状況を音と光で知らせてくれる。今回はこれを筋活動の弱い人向けに改良し、体の状況に応じて5段階を揃えた。

元々この製品は、脳と筋肉の関連に着目して生まれたもの。今回の仕様変更に伴う調査で、リハビリが必要な人は健常者が持つ脳の基本的な運動プログラムが損傷しており、再構築が必要な状態であることがわかった。さらに、リハビリでは体の動きと筋肉の負荷を患者自身が確認することで効果が高まることも証明された。誰もが簡単にリアルタイムで筋肉の状態を把握できる同製品は、今後の支援ツールとしての有用性がさらに広がった。

専門家の調査報告に基づく科学的な裏付け。

専門家の調査で、健常者とは異なるリハビリ向けの適正感度を割り出した。さらに運動機能の再構築には、筋肉の状態を把握しながらイメージすることが有効と判明。支援ルーツとしての意義が増した。

筋活動を、音と光、画面でリアルに即時に体感。

リハビリを行う場合、意欲を持って楽しく取り組める仕掛けが重要。音や光、グラフなど、その場で筋活動を実感できるため、やる気が増し、動く際のイメージも膨らみやすい。

小型で装着が簡単。使い方によって応用範囲も広がる。

自宅でリハビリを行う場合、器具の装着が簡単なことは必須。施設などの指導者にとっては、動きに伴う筋肉の状態が把握できるので、オリジナルの運動プログラム作りができ、応用範囲が広い。

ものづくり専門員から一言

成長市場で活用が見込まれる 独創的な支援ツール。

長寿社会の今、病気やケガの後のリハビリ需要はますます増えていきます。その中で、単なる運動機器ではなく、動機づけやリハビリメニュー作成の支援ツールという発想は新しく、活用範囲も広がりそうです。

こんな
会社です！

脳と筋肉の関係から 身体の動きに着目。

弊社は、福井大学の7番目のベンチャー企業です。教育地域科学部 スポーツバイオメカニクス研究室の吉澤正尹教授の「身体を動かす事の基礎を学ぶ機会はほとんどない」という言葉を聞き、高齢化が進む日本で、この分野の研究は社会貢献性が高く、必ずニーズがあると確信しました。長寿社会をできるだけ健康で生きるために、「脳と筋肉のコミュニケーション」に着目した運動処方、マッスルアライブを通してQOLを保つための提案をしていきます。



代表取締役
岡本 耕至 さん



昨年から県外の展示会にも出展。筋肉の状態を知るツールは「新鮮で面白い」との評価が寄せられている



実験用マシンも備えた事業所

株式会社 身のこなしラボラトリー

代表者名：代表取締役 岡本耕至
設立年月日：平成18年10月24日
資本金額：590万円 従業員数：2人
業種：運動プログラム提供、運動機器開発・販売
その他：福井大学との共同研究によるベンチャー企業

〒910-0025 福井県福井市照手町4-2308
☎ 0776-24-0325 FAX 0776-24-0462
URL <http://www.minokonashi.co.jp/>
E-mail info@minokonashi.co.jp